

諸報告資料

(令和5年門真市教育委員会第11回定例会)

門真市教育委員会

門教企第477号
令和5年11月24日

門真市学校適正配置審議会
会 長 様

門真市教育委員会
教育長 久木元 秀平

門真市立学校の適正配置・適正規模について（諮問）

門真市附属機関に関する条例（平成25年門真市条例第3号）別表2号の表門真市学校適正配置審議会の項の規定に基づき、下記の件について、貴審議会の意見を求めます。

記

門真市学校適正配置審議会第四次答申以降の門真市立学校のあり方について

門真市学校適正配置審議会 委員名簿

令和5年11月24日現在

	区 分	委員氏名	役 職
1	会長 学識経験者	横山 俊祐	大阪公立大学 名誉教授
2	副会長 学識経験者	西 孝一郎	大阪成蹊大学大学院 非常勤講師
3	学識経験者	新谷 龍太郎	同志社女子大学 現代社会学部現代こども学科 准教授
4	学識経験者	吉岡 眞知子	東大阪大学 学長 こども学部 教授
5	市民の代表	岡本 富男	門真市体育協会 会長
6	市民の代表	勝川 喜美子	門真市文化協会 事務局長
7	市民の代表	川村 早余子	門真市地域学校協働本部 会長
8	市民の代表	小阪 和之	門真市PTA協議会 書記（兼小学校PTA代表）
9	市民の代表	後藤 忠夫	門真市青少年指導員運営協議会 代表
10	市民の代表	日置 芳太郎	門真市青少年育成協議会連合会 会長
11	市民の代表	平生 眞悟	門真市自治連合会推薦 （上野口小校区理事）
12	市民の代表	藤田 俊和	門真市子ども会育成連合会 会長
13	市民の代表	船越 叔美	公募市民
14	市民の代表	本田 貴裕	門真市PTA協議会 会長（兼中学校PTA代表）
15	市民の代表	山田 颯	公募市民
16	学校関係者	岩佐 美奈子	門真市立門真みらい小学校 校長
17	学校関係者	脊戸 利子	門真市立門真はすはな中学校 校長
18	学校関係者	邨橋 雅広	幼保連携型認定こども園 たちばな幼稚園 園長

門真市立学校教職員人事基本方針

平成9年10月23日制定

令和4年10月28日改正

門真市教育委員会

豊かな人間性をはぐくむ学校教育を展開し、21世紀を担う人材育成を推進するために、下記の事項に重点をおいて適正な人事を行う。

- 1 各学校の教育目標の達成を図るため、全市的視野に立ち、適材を適所に配置する。
- 2 児童・生徒数の増減及び各学校の実情を踏まえた適切な定数管理のもとに、計画的に人事異動を行う。
- 3 教職員としての経験を豊かにし、力量を高めるため、広域異動、校種間異動等の交流人事を積極的に進める。
- 4 教職員の新規採用については、豊かな人間性と教育に対する熱意を有する人材の確保に努める。
- 5 校長・教頭等については、その職責にふさわしい高い識見と指導力を備えた人材を登用する。

令和6年度門真市立学校教職員人事は、「門真市立学校教職員人事基本方針」に基づき、次の事項に重点をおき、計画的に行うものとする。

1 教職員の人事について

(1) 過欠員の調整

児童・生徒数の増減等に基づく定数事情を勘案の上、市町村間の広域異動及び配置換（以下「異動等」という。）を行い、効率的な過欠員の調整を図る。

(2) 教職員構成の適正化

- ① 各学校における教職員の構成については、年齢別、性別、担当教科別等を勘案するとともに、各分野の推進力となる教職員を適正に配置するよう留意する。
- ② 「大阪府人権教育推進計画」・「人権教育基本方針」の趣旨を踏まえ、同和教育、支援教育、在日外国人教育等、人権尊重の教育を推進する人材を学校の実情に応じて配置するよう考慮する。

なお、在外教育施設等への派遣経験者や様々な人事交流の経験者の配置については、それぞれ経験した教育活動が活かされるよう配慮する。

(3) 異動及び配置換の推進

- ① 教職員の異動等については、教職員構成の適正化に基づき、学校運営体制の確立と教育改革推進のため適正に行う。その際、校長の意向を十分考慮する。
- ② 異動対象者は原則として、新規採用後、同一校に4年以上勤務する者については6年を上限とし、それ以外の者で、現任校に6年以上勤務する者については、8年を上限として計画的に異動等を行う
- ③ 前号の規定に関わらず、首席・指導教諭については、10年を上限として計画的に異動等を行うことができる。
- ④ なお、必要に応じて、勤務年数にかかわらず計画的に異動等を行う。
- ⑤ 異動等を行うに当たっては、市町村間及び異なる校種等、様々な人事交流を積極的に推進する。

なお、広く人材を求め、研究学校への配置等、学校の活性化を推進するための異動を行う。

- ⑥ 新規採用教員については、資質向上の観点から、適正な配置となるよう考慮する。

2 校長及び教頭の人事について

(1) 校長及び教頭の異動等

学校運営上の能力等を十分考慮するとともに学校の実情を勘案の上、「魅力ある学校づくり」を推進するため、適材を適所に配置する。

(2) 校長及び教頭の任用

- ① 優れた人材を広域的に任用するため、各選考要領に基づき適正に選考を行う。
- ② 校長及び教頭の任用については、候補者名簿に登載された者の中から、年齢、経歴にとらわれることなく、若手の登用を心がけ、学校の実情、本人の特性等を考慮して行う。
- ③ 女性教職員の管理職任用を、積極的に推進する。

3 女性教職員の人事について

- (1) 女性教職員を、学校運営の中心的な役職に任用するよう考慮をばらうものとする。
- (2) 女性教職員の人事に当たっては、母性保護の観点に十分留意する。

新旧対照表

新	旧
令和 <u>6</u> 年度門真市立学校教職員人事取扱要領	令和 <u>5</u> 年度門真市立学校教職員人事取扱要領
令和 <u>6</u> 年度門真市立学校教職員人事は、「門真市立学校教職員人事基本方針」に基づき、次の事項に重点をおき、計画的に行うものとする。	令和 <u>5</u> 年度門真市立学校教職員人事は、「門真市立学校教職員人事基本方針」に基づき、次の事項に重点をおき、計画的に行うものとする。